

世界のジャポニカ米市場と日本産米の競争力  
～ 次世代大規模稲作経営の展望を考える ～  
文科省・科研と農水省プロジェクトの合同報告会セミナー  
Tokyo, Japan

# 世界のジャポニカ米市場と 日本産米輸出力の構造的変化

-- 日本の戦略はどうあるべきか --

Shoichi Ito, *Ph.D.* 伊東正一  
[sito@agr.kyushu-u.ac.jp](mailto:sito@agr.kyushu-u.ac.jp)  
Kyushu University, Japan 九州大学大学院農学研究院,  
<http://worldfood.apionet.or.jp>  
November 6, 2015

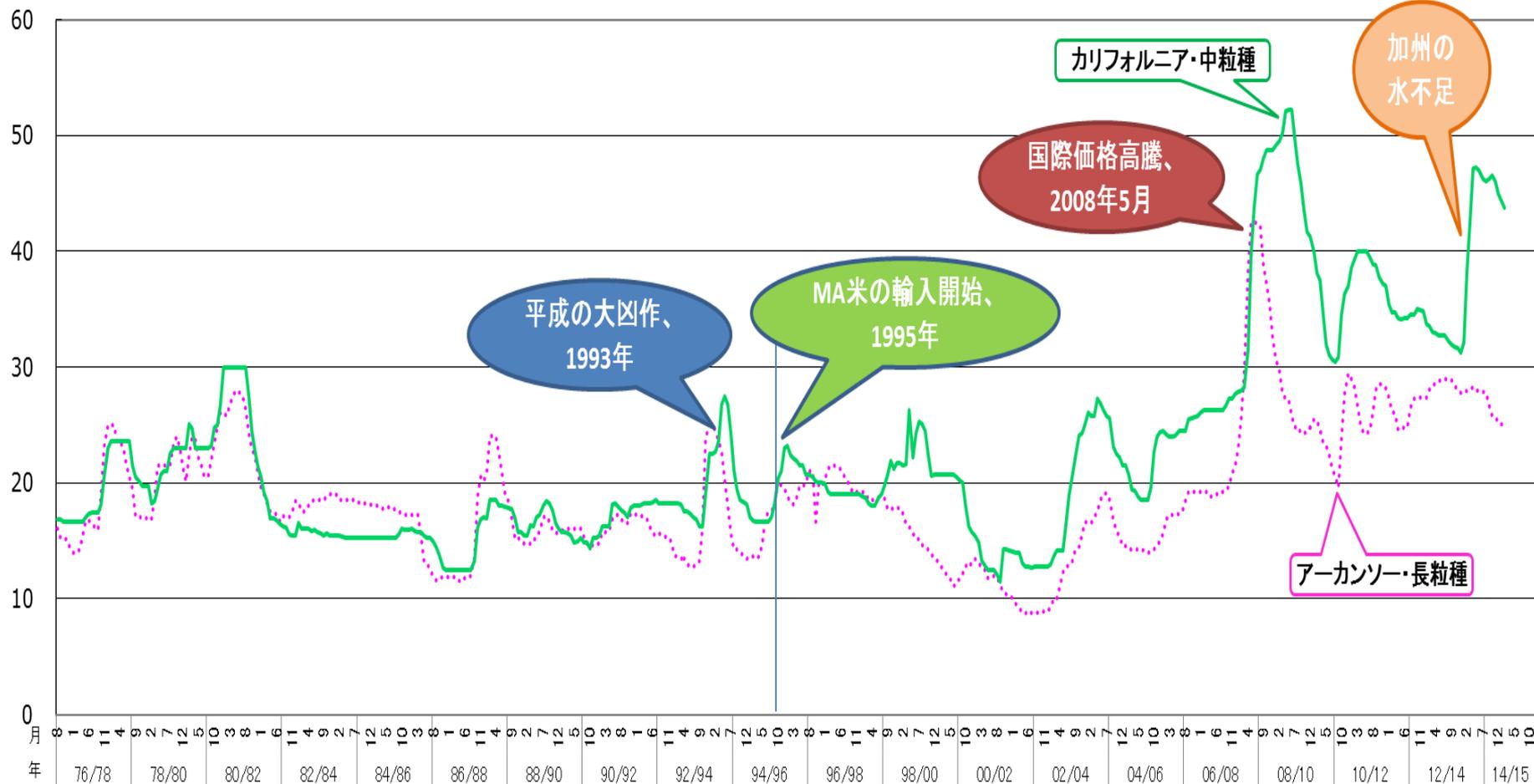
## - 本日のポイント -

- **国際相場・ジャポニカ米とインディカ米**
- **米国のコメ生産**
- **近年の日本産米の国際競争力**  
    **韓国、米国の小売価格と品質、評価**
- **TPPと日本農業の国際化**
- **今後の見通しと戦略**

- 国際市場を狙うなら…

**アメリカを知れ！**

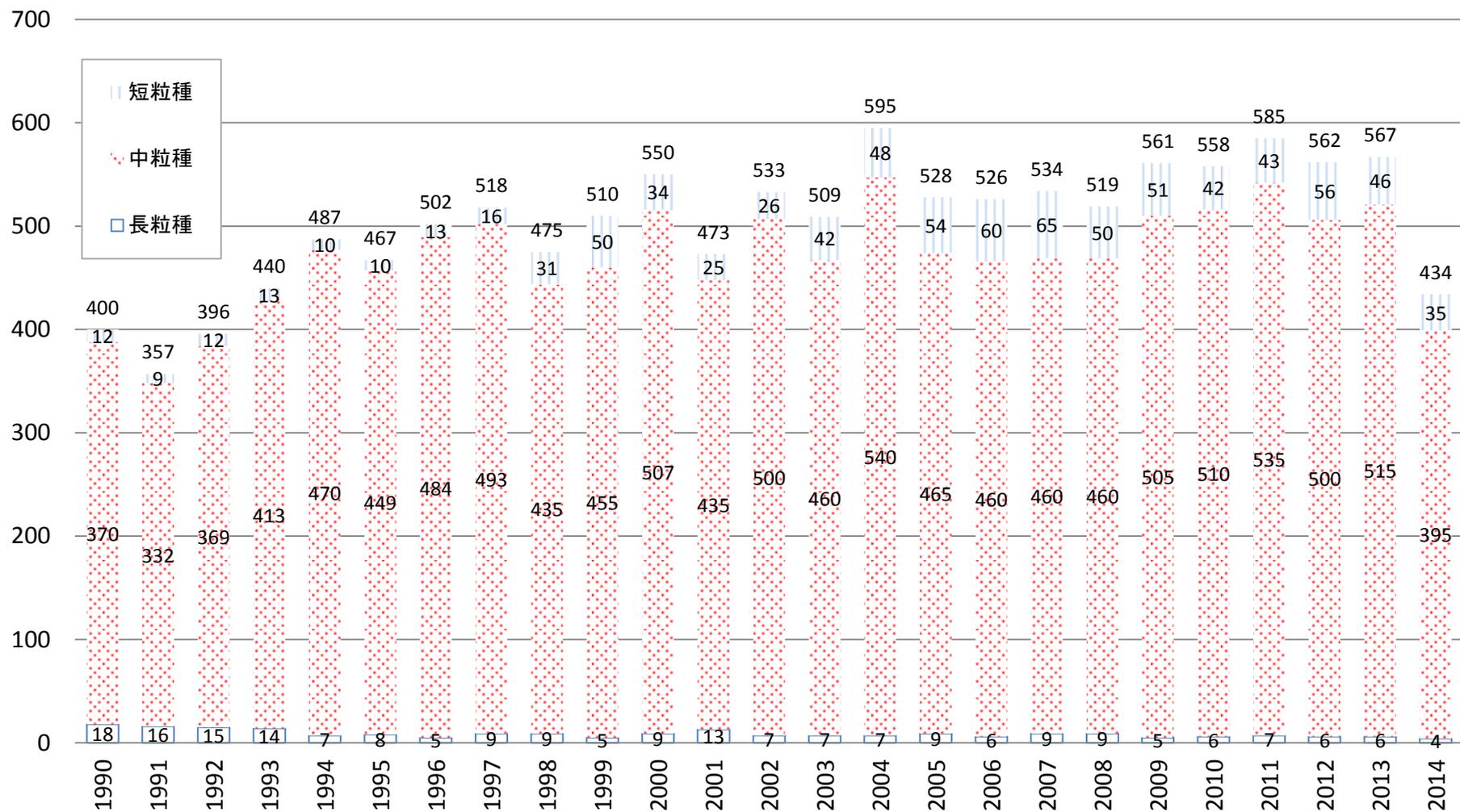
図1. 米国の主産地(アーカンソー・カリフォルニア)における精米工場のFOB価格  
 (\$/cwt, bagged)  
 (月別1976年8月~2015年2月, 精米100ポンド袋詰め)



ソース: Rice Yearbook : Dataset, USDA, Agricultural Marketing Service, Rice Market News.  
 伊東正一 <http://worldfood.apionet.or.jp/riceprice/ricepriceJ.htm>, June 2015

1,000エーカー

図2. カリフォルニア州における長・中・短粒種の作付面積



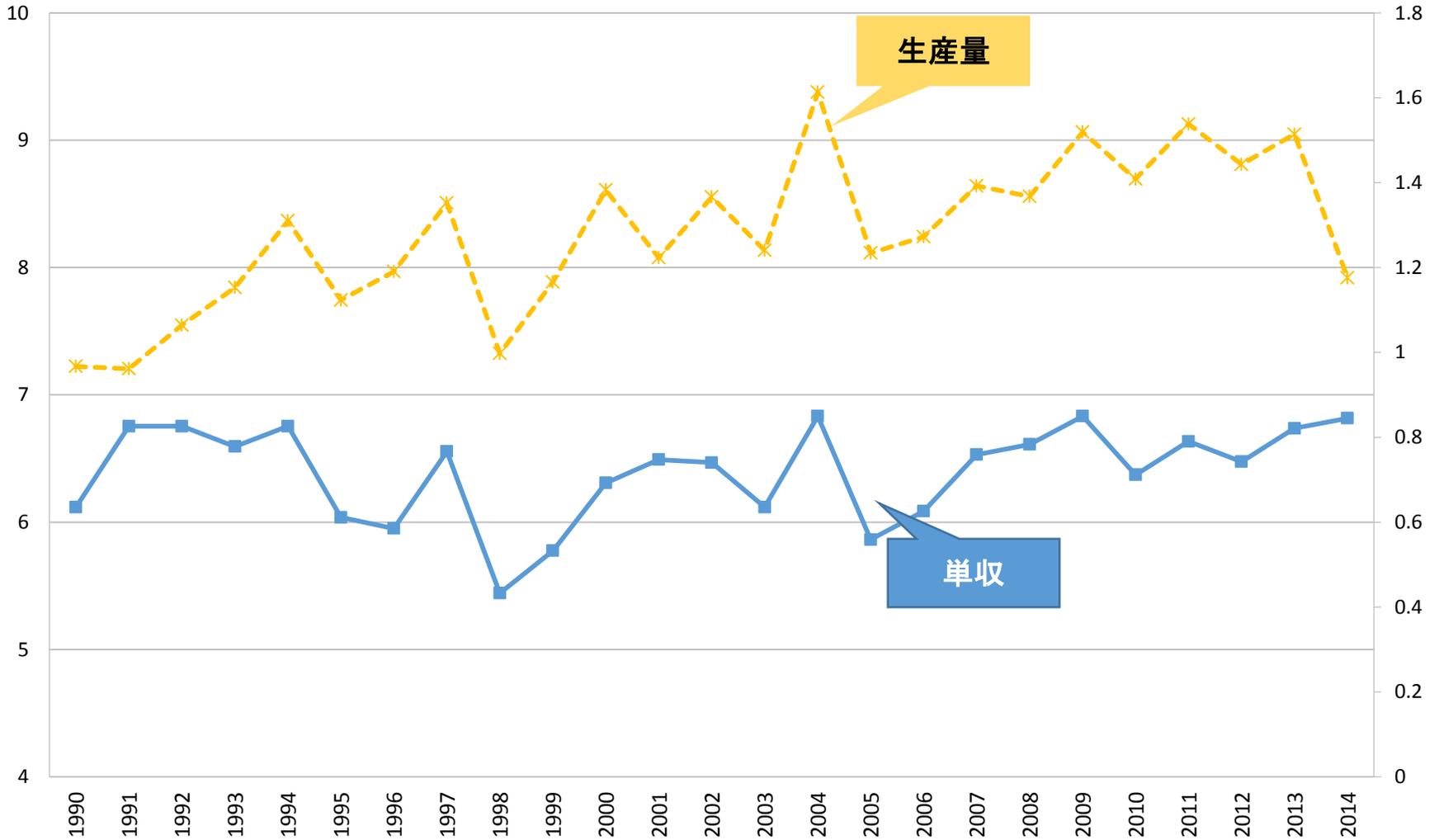
ソース: USDA Rice Yearbook(Several issues including June 2015 issue.)

注: トップ数値は各年の合計

図3. カリフォルニア稲作の単収と生産量(精米換算)

単収  
(トン/ha、精米)

生産量  
(百万トン、精米)



ソース: USDA: Rice Yearbook (Several issues including June 2015 issue.)

表1. カリフォルニアの稲作の単収と生産量

年度	単収 (1ha当たり、トン、精米)	生産量 (百万トン、精米)
1990	6.12	0.97
1991	6.75	0.96
1992	6.75	1.06
1993	6.59	1.15
1994	6.75	1.31
1995	6.04	1.12
1996	5.95	1.19
1997	6.55	1.35
1998	5.44	1.00
1999	5.78	1.17
2000	6.31	1.38
2001	6.49	1.22
2002	6.47	1.37
2003	6.12	1.24
2004	6.83	1.61
2005	5.86	1.23
2006	6.09	1.27
2007	6.53	1.39
2008	6.61	1.37
2009	6.83	1.52
2010	6.37	1.41
2011	6.63	1.54
2012	6.48	1.44
2013	6.74	1.51
2014	6.82	1.18

ソース: USDA: Rice Yearbook(Several issues including June 2015 issue.)

図4. 米国における2015年産米に対する農家価格(予測)  
(モミ100ポンド(45kg)当たり、ドル)

(ドル)

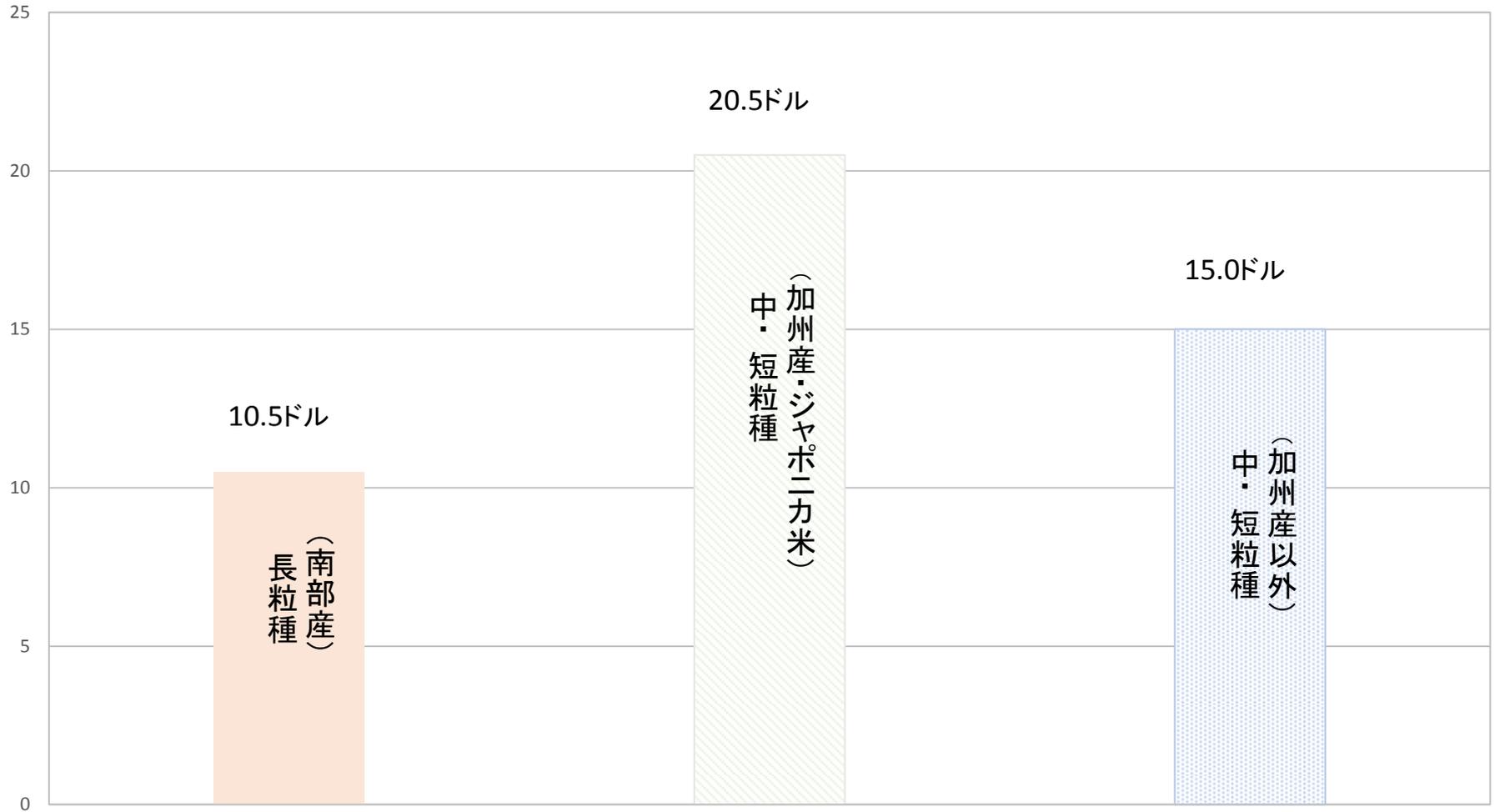
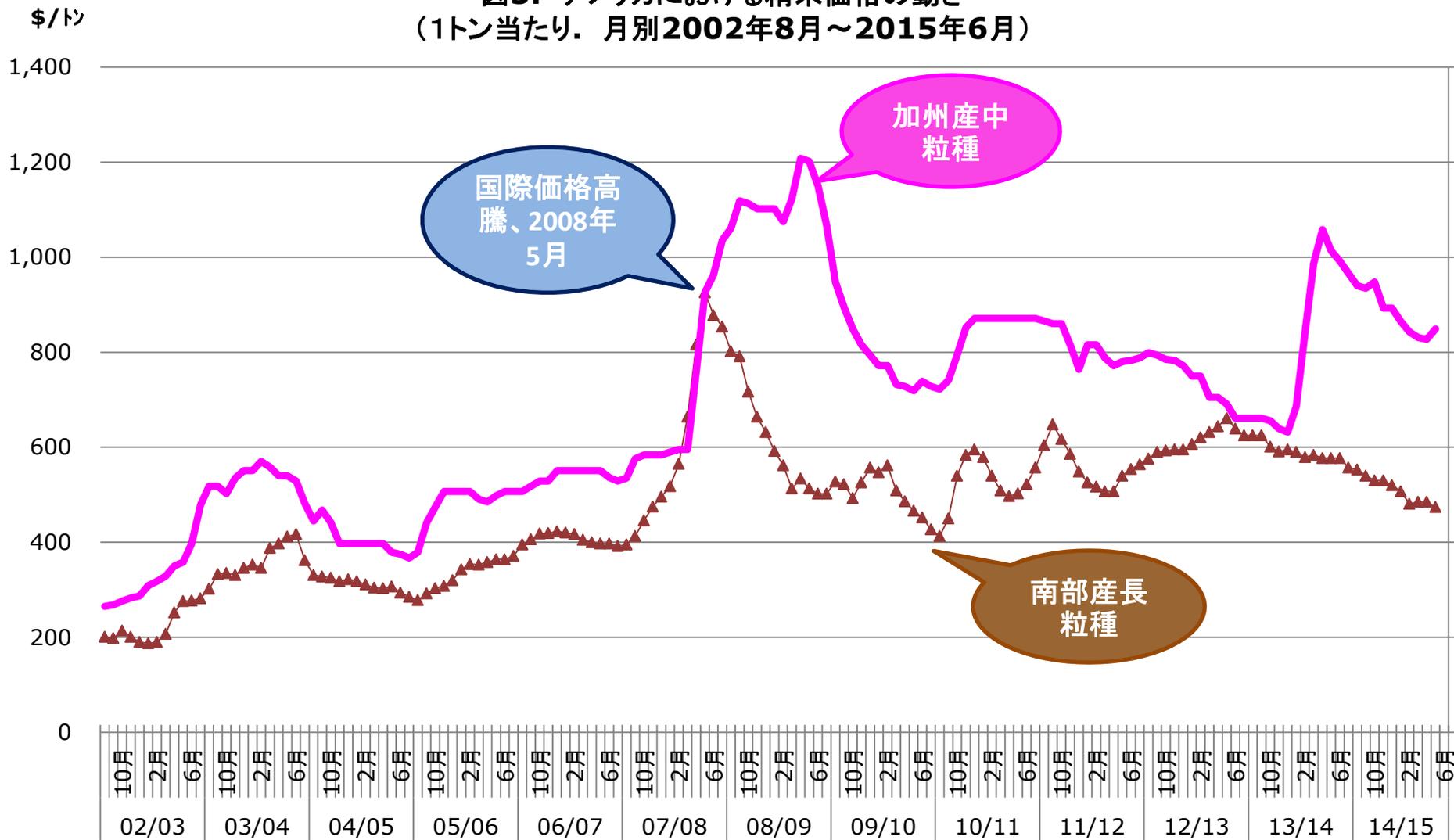


図5. アメリカにおける精米価格の動き  
 (1トン当たり、月別2002年8月～2015年6月)



ソース: 米国農務省(USDA):Rice Situation and Outlook Yearbook, Rice Outlook, June 12, 2015。

伊東正一:「コメ、コムギ、コーン及びダイズに関する国際価格」

(<http://worldfood.apionet.or.jp/pricechart/Indexriceprice.html>)(2015年6月30日閲覧)

# カリフォルニア米の流通・2011年産

- 生産量 155万トン(精米換算)
- 国内消費量 85万トン
- 輸出量 70万トン
  - 日本 36万トン
  - 韓国 8万トン
  - 台湾 5万トン
  - その他 21万トン

ソース: USDA: Rice Outlook, Feb. 2012

今や日本は、輸出すべき…  
生産コストを下げよ！！

# 日本産米輸出力の構造的変化

1. 円安（1ドル80円から120円に）
2. 国内価格の下落
3. 国際ジャポニカ米価格の高騰
4. 世界の日本食ブーム、ジャポニカ米ブーム

FX:USDJPY (ドル / 円)

始値 : 124.5645 高値 : 125.08 安値 : 124.515 取引値: 124.842 (+00.271/+00.22%)



## 円安の影響

2011/12年の1ドル80円から、今は120円・・・

- **外国からみた場合(ドルからみると・・・)**
  - 以前は1ドルで80円の物を買った、
  - 今は、1ドル出したら40円のおつり、
  - よって、**円安により3割安**
  
- **日本からみた場合(円からみると・・・)**
  - 以前は80円で1ドルの物が買えた
  - 今は、120円出さないと買えない、
  - よって、**円安により5割高**

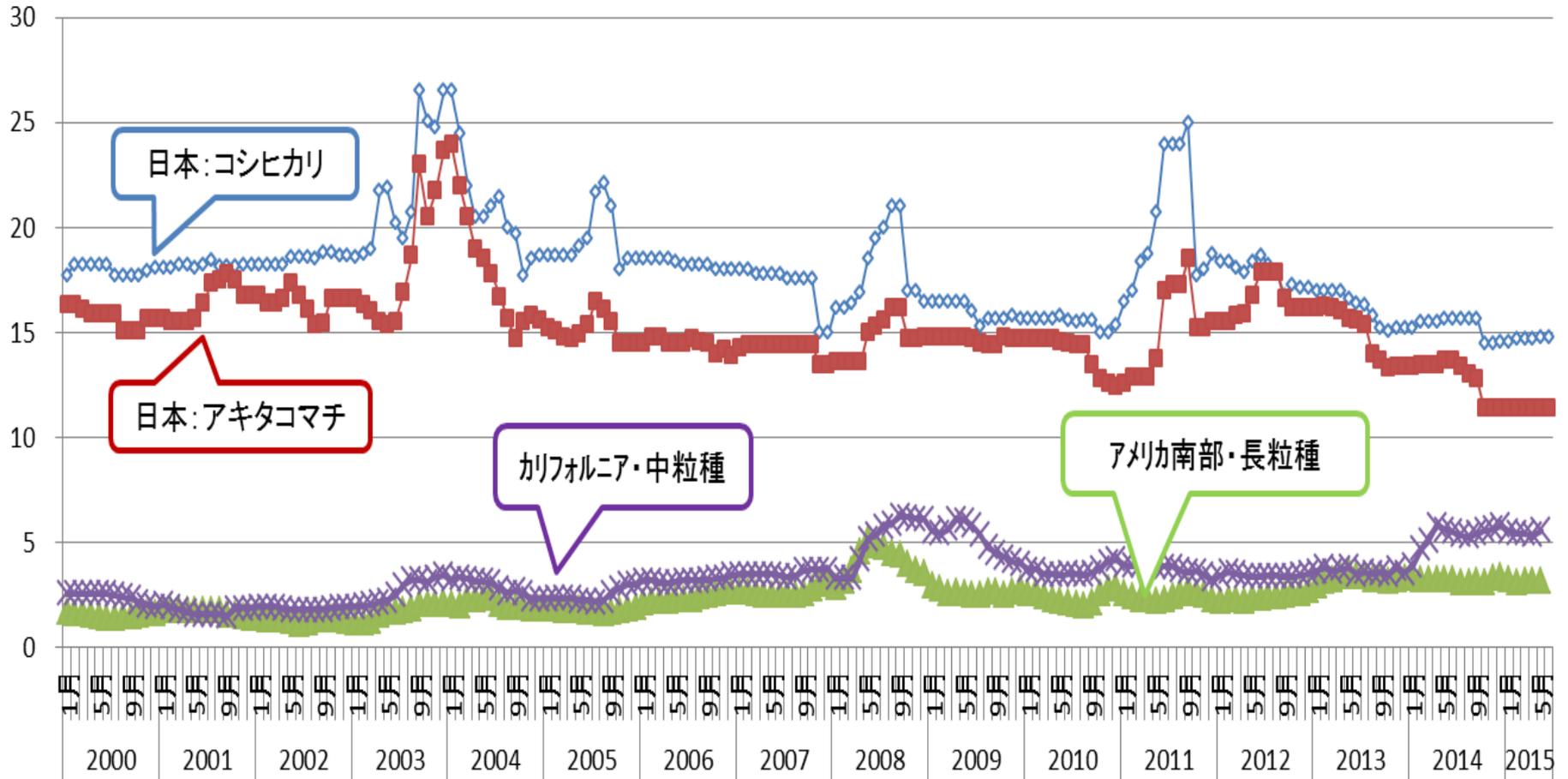
# 国内コメ価格の変動(玄米卸売価格)

(1,000円/60kg)



図8. 日本とアメリカにおけるコメの国内価格の比較、  
玄米60kg当たり円(2000年1月-2015年5月)

(1000円/玄米60kg)

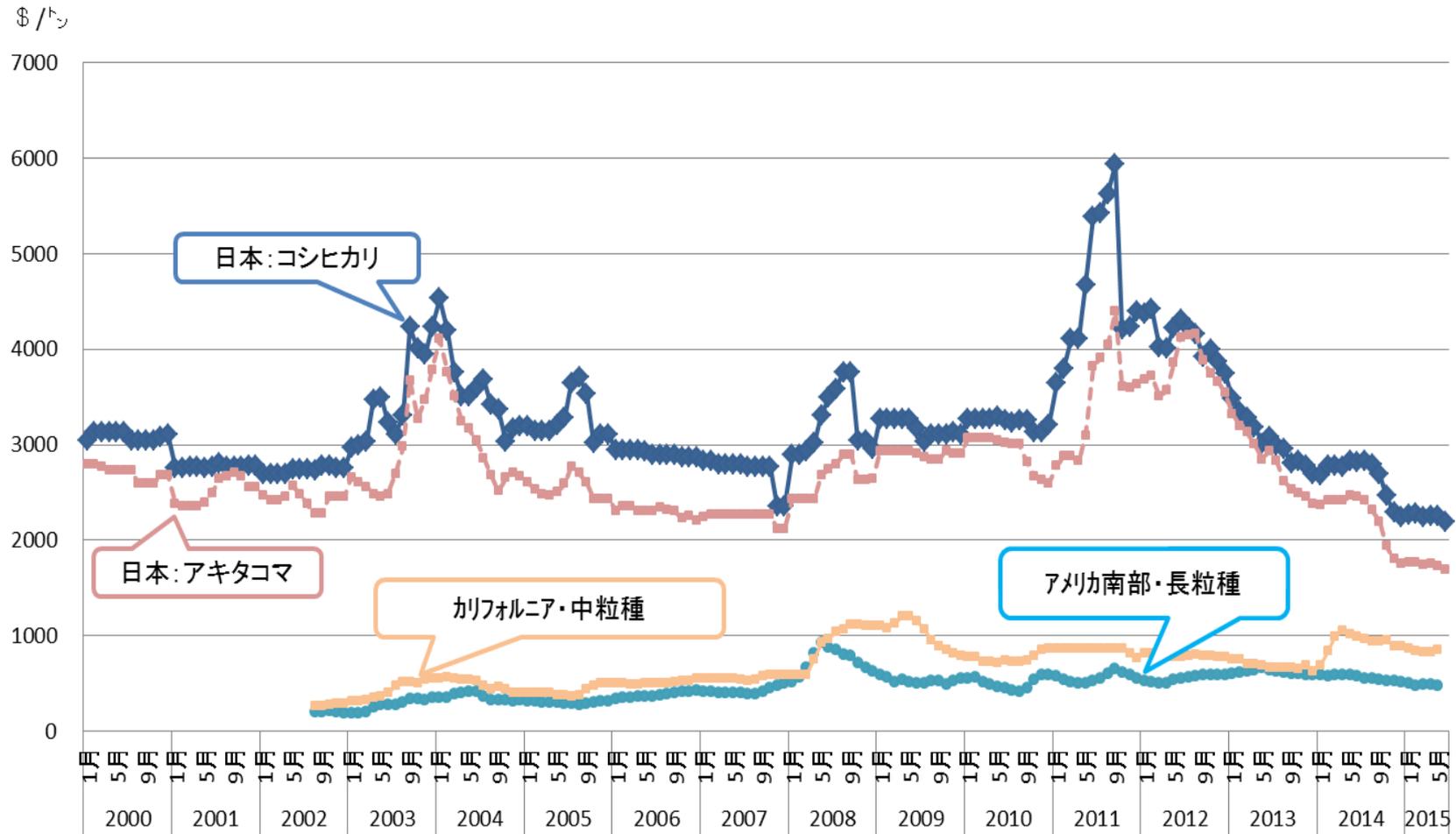


ソース:カリフォルニア・中粒種とアメリカ南部・長粒種は米国農務省(USDA)から、日本のコシヒカリとアキタコマチは日本経済新聞から、それぞれ引用した。

詳しくは、<http://worldfood.apionet.or.jp>をご参照のこと。

注:為替レートは、三菱UFJリサーチ&ファイナンシャルの年平均から引用した([http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\\_3month.php](http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php))

図8 コメの国際価格と国内価格の比較 (US\$/トン)  
(2000-2015)



ソース: カリフォルニア・中粒種とアメリカ南部・長粒種は米国農務省(USDA)から、日本のコシヒカリとアキタコマチは日本経済新聞から、それぞれ引用した。

詳しくは、<http://worldfood.apionet.or.jp>をご参照のこと。

注: 為替レートは、三菱UFJリサーチ&ファイナンシャルの年平均から引用した([http://www.murc-kawasesouba.jp/tx/past\\_3month.php](http://www.murc-kawasesouba.jp/tx/past_3month.php))

# - 今の日本のコメの国際競争力は？ - 韓国産米との比較 -

## • 日本の米相場

### - 玄米60kg:

- あきたこまち 11,400円 (日本経済新聞、2014年12月)
  - 去年同期から2千円安
  - 為替レート、1ドル80円から120円へ

## • 韓国の米相場

### - ソウル:精米20kgの卸相場:

- 4万ウォン (一般の米、2015年1月23日)
  - 昨年からあまり変化なし
  - 為替レート、1円が9.195ウォン

### - 玄米60kg換算 11,745円

- 今や韓国のコメの方が高い！！  
そして、味は・・・？

▶ 品目別 > 卸売価格 > 食糧作物 > 米 > 全 (商品) > 20kg



区分		当日 11/03	1日前 11/02	4日前 10/30	5日前 10/29	6日前 10/28	7日前 10/27	1ヶ月前
平均		37,000	37,000	36,900	37,200	37,200	37,700	40,575
最高値		38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	40,000	42,000
最小値		35,000	35,000	34,000	35,000	35,000	35,000	38,750
騰落率		-	0.0	0.3	-0.5	-0.5	-1.9	-8.8
ソウル	一般系	35,000	35,000	34,000	35,000	35,000	35,000	38,750
	ハット一般系	-	-	35,000	37,000	37,000	37,000	40,000
釜山	一般系	38,000	38,000	37,000	37,000	37,000	37,000	40,000
	ハット一般系	-	-	38,000	38,000	38,000	38,000	42,000
大邱	一般系	38,000	38,000	37,000	37,000	37,000	39,000	40,000
	ハット一般系	-	-	38,000	38,000	38,000	40,000	42,000
広州	一般系	38,000	38,000	37,000	37,000	37,000	37,000	40,000
	ハット一般系	-	-	38,000	38,000	38,000	39,000	42,000
対戦	一般系	36,000	36,000	37,000	37,000	37,000	37,000	39,500
	ハット一般系	-	-	38,000	38,000	38,000	38,000	41,500

## ◎ ホクレン、タイへコメ輸出本格化 10倍の年300トンへ

ホクレン農業協同組合連合会はタイ向けコメ輸出を本格化する。現地の日本食店など外食・業務用需要を狙い、年300トンの販売を目指す。タイは日本…続き

(2015/9/30 11:31) 421文字

## ◎ コメ輸出 最高ペース 14年比6割増、東南アに広がり 🔒

コメ輸出の増加が続いている。今年は過去最高だった2014年を6割上回るペースで推移する。価格下落や円安で国際競争力が高まった。従来はシンガ…続き

(2015/9/7 22:30) 1190文字



## ◎ タイ、コメ輸出首位転落も 干ばつや前政権の政策失敗が影響 🔒

【バンコク＝京塚環】世界最大のコメ輸出国のタイが、首位陥落の瀬戸際にある。今年の生産量は、20年に一度という干ばつによって前年比2割減少す…続き

(2015/7/24 23:50) 1087文字

## ◎ ホクレン、タイ輸出拡大 コメなど 🔒

ホクレン農業協同組合連合会は農作物のタイ向け輸出を本格的に始める。9月にバンコク中心部の大型店で道産食品の販売イベントを初めて実施し、現地…続き

(2015/7/15 10:13) 528文字

- アメリカやEUのコメ小売価格は？

• 高い欧米のジャポニカ米！！

表8 欧米におけるジャポニカ米の小売価格(ロサンゼルス市とミラノ市)(2015年8月)

米国・ロサンゼルス市	精米15ポンド(6.8kg) ドル	10kg当り、ドル	円/10kg
田牧Gold	33.88	49.82	5,979
錦(白米・玄米)	17.88	26.29	3,155
望	26.98	39.68	4,761
玉錦	25.88	38.06	4,567
コシヒカリ	18.97	27.90	3,348
祭(Matsuri)	24.98	36.74	4,408
かがやき	29.98	44.09	5,291
ぼたん	12.98	19.09	2,291

イタリア・ミラノ市	精米、kg	ユーロ	10kg当り、ドル	円/10kg
錦	20	49.90	28.07	3,368
田牧CLASSIC	22.68	71.20	35.32	4,238
お米さん(OKOMESAN)	20	30.90	17.38	2,086
Riso Per Sushi	5	5.90	13.28	1,593
ゆめにしき	10	31.50	35.44	4,253
日和(Biyori)	10	14.90	16.76	2,012
Galloi Riso Per Sushi	0.5	1.50	33.75	4,050
タイ産 ジャスミンライス	20	32.90	18.51	2,221

注1:米国の小売価格はロサンゼルス近郊のスーパー、イタリアの小売価格はミラノ市チャイナタウンのスーパーによる。

注2:為替レートは1ドル120円、1ユーロ135円として計算した。

# - 米国産米の輸入シミュレーション

**それでも強い米国産米の輸出力・・・**

表6 アーカンソー州産コシヒカリ、加州産キャルローズ、加州産あきたこまち、黒龍江省産合江19号を日本に輸入した場合の各段階における価格の推定値

(精米10kg当たり、2015年6月における米国及び中国のジャポニカ米相場を想定)

	ア州産コシ	加州産キャル	加州産あきた	黒産合江19
海外				
(1) FOB価格	\$12.35	\$11.43	\$17.17	\$11.25
(2) 海上輸送費	\$0.70	\$0.50	\$0.50	\$0.30
(3) 海上保険料 $\{(1)+(2)\} \times 0.006$	\$0.03	\$0.03	\$0.03	\$0.02
(4) 金利 $\{(1)+(2)+(3)\} \times 0.012$	\$0.05	\$0.06	\$0.06	\$0.04
(5) 輸入業者手数料 $\{(1)+(2)+(3)\} \times 0.03$	\$0.14	\$0.14	\$0.15	\$0.10
(6-1) CIF 価格(日本) $\{(1)+(2)+(3)+(4)+(5)\}$	\$13.27	\$12.16	\$17.91	\$11.71
-----				
(6-2) 円建てCIF価格(為替レート円/ドル)¥120	¥1,592	¥1,459	¥2,149	¥1,405
(7) 関税, %	0	0	0	0
-----				
国内				
(8) 通関手数料(7,000円/トン)	¥70	¥70	¥70	¥70
(9) 倉庫保管料(600円/トン10日x45日)	¥27	¥27	¥27	¥27
(10) 倉庫渡し価格 $\{(6-2)+(8)+(9)\}$	¥1,689	¥1,556	¥2,246	¥1,502
(11) (玄米60kg当たり推定価格)	¥9,120	¥8,401	¥12,127	¥8,112
(12) 国内販売手数料(600円/10kg)	¥600	¥600	¥600	¥600
(13) 小売価格 $\{(10)+(12)\}$	¥2,289	¥2,156	¥2,846	¥2,102
-----				
(14) 評価価格	¥2,726	¥1,922	¥2,574	¥2,487
(15) 消費者のメリット $\{(14)-(13)\}$	¥437	¥-234	¥-272	¥384
-----				
(16) 消費者のメリットを0とする関税率	26%	-15%	-12%	26%

注) 外国産米の評価価格は伊東正一著『世界のジャポニカ米、その現状と生産能力』食糧振興会叢書 No.43, 1994年、p.164を参考にした。なお、(1)のFOB価格は現在の生産コストを参照し、修正した。また、(14)の評価価格は当時の価格に対し、日本国内の市場価格が値下がりしていることを考慮して25%引とした。

表7. 日本のコメ輸入が完全に自由化され加州産米の価格がア州産長粒種並みに下落した場合のFOB価格と輸入米の小売価格の推定値

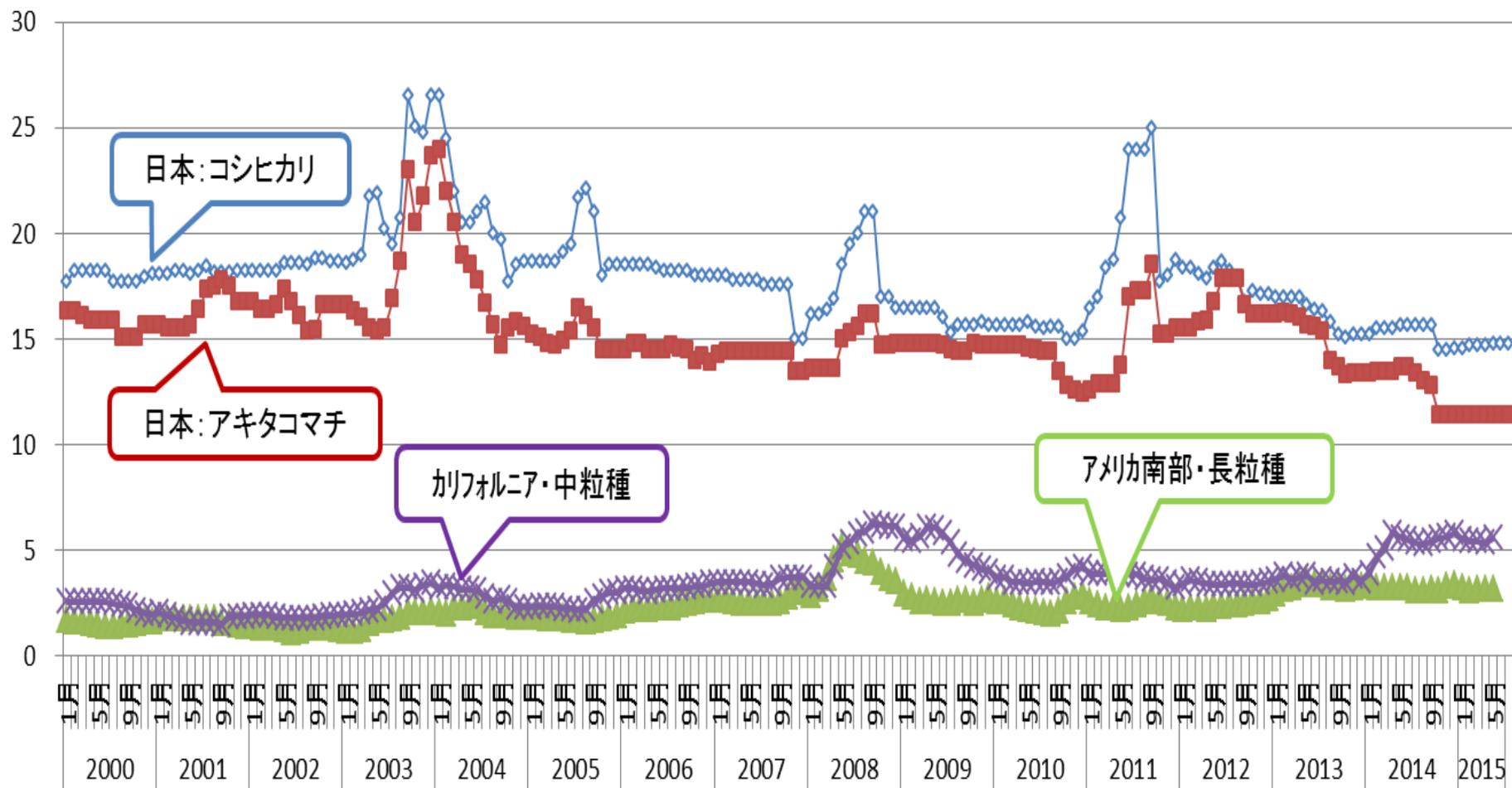
(精米10kg当たり、コメの完全自由化で加州米相場がア産長粒種と同じレベルに値下がりした相場を想定)

	ア州産コシ	加州産キャル	加州産あきた	黒産合江19
海外				
(1) FOB価格	\$12.35	\$7.61	\$12.03	\$11.25
(2) 海上輸送費	\$0.70	\$0.50	\$0.50	\$0.30
(3) 海上保険料 $\{(1)+(2)\} \times 0.006$	\$0.03	\$0.03	\$0.03	\$0.02
(4) 金利 $\{(1)+(2)+(3)\} \times 0.012$	\$0.05	\$0.06	\$0.06	\$0.04
(5) 輸入業者手数料 $\{(1)+(2)+(3)\} \times 0.03$	\$0.14	\$0.14	\$0.15	\$0.10
(6-1) CIF 価格(日本) $\{(1)+(2)+(3)+(4)+(5)\}$	\$13.27	\$8.34	\$12.76	\$11.71
-----				
(6-2) 円建てCIF価格(為替レート円/ドル)¥120	¥1,592	¥1,000	¥1,531	¥1,405
(7) 関税, %	0	0	0	0
-----				
国内				
(8) 通関手数料(7,000円/トン)	¥70	¥70	¥70	¥70
(9) 倉庫保管料(600円/トン10日x45日)	¥27	¥27	¥27	¥27
(10) 倉庫渡し価格 $\{(6-2)+(8)+(9)\}$	¥1,689	¥1,097	¥1,628	¥1,502
(11) (玄米60kg当たり推定価格)	¥8,440	¥5,246	¥8,113	¥7,998
(12) 国内販売手数料(600円/10kg)	¥600	¥600	¥600	¥600
(13) 小売価格 $\{(10)+(12)\}$	¥2,289	¥1,697	¥2,228	¥2,102
-----				
(14) 評価価格	¥2,726	¥1,922	¥2,574	¥2,487
(15) 消費者のメリット $\{(14)-(13)\}$	¥437	¥225	¥345	¥384
-----				
(16) 消費者のメリットを0とする関税率	26%	21%	21%	26%

注) 外国産米の評価価格は伊東正一著『世界のジャポニカ米、その現状と生産能力』食糧振興会叢書 No.43, 1994年、p.164を参考にした。なお、(1)のFOB価格は現在の生産コストを参照し、修正した。(11)の算出においては10kg精米用の袋代を差し引いている。また、(14)の評価価格は2012年11月から2013年4月に行った官能食味試験の結果を用いた。

図8. 日本とアメリカにおけるコメの国内価格の比較、  
玄米60kg当たり円(2000年1月-2015年7月)

(1000円/玄米60kg)



ソース:カリフォルニア・中粒種とアメリカ南部・長粒種は米国農務省(USDA)から、日本のコシヒカリとアキタコマチは日本経済新聞から、それぞれ引用した。

詳しくは、<http://worldfood.apionet.or.jp>をご参照のこと。

注:為替レートは、三菱UFJリサーチ&ファイナンシャルの年平均から引用した([http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\\_3month.php](http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php))

表9. 日本産米の輸出量、額及び単価(商業用、2009～2014年)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年		
	数量 トン	数量 トン	数量 トン	数量 トン	数量 トン	数量 トン	金額 百万円	単価(10kg) 円
合計	1,312	1,898	2,129	2,202	3,121	4,516	1,428	3,162
輸出先	(+1%)	(+45%)	(+12%)	(+3%)	(+42%)	(+45%)	(+39%)	(-4%)
香港	481	654	779	916	1,207	1,744 (+44%)	497 (+32%)	2,850
シンガポール	185	334	598	668	961	1,295 (+35%)	371 (+24%)	2,865
台湾	333	271	183	154	168	407 (+142%)	155 (+110%)	3,808
オーストラリア	36	125	157	130	189	185 (-2%)	59 (+6%)	3,189
中国	30	96	0	34	46	157 (+241%)	76 (+300%)	4,841
イギリス	26	36	57	48	58	112 (+93%)	41 (+77%)	3,661
アメリカ	17	39	46	29	91	81 (-11%)	37 (+3%)	4,568
インドネシア	0	0	15	8	57	74 (+30%)	24 (+30%)	3,243
ドイツ	7	50	55	50	47	60 (+28%)	20 (+39%)	3,333
モンゴル	3	3	4	7	73	51 (-30%)	10 (-32%)	1,961
マレーシア	9	15	22	10	6	49 (+717%)	15 (+647%)	3,061
その他	185	275	213	148	218	301 (+38%)	123 (+27%)	4,086

資料: 財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く。)

注1: ( )内は対前年同期増減率である。

注2: 「その他」に含まれる国は、2014年についてはロシア、タイ、オランダなど33ヶ国。

注3: 数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

注4: このデータは農水省のホームページ、[http://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/kome\\_yusyutu/kanren.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/kome_yusyutu/kanren.html) (2015年7月4日閲覧)

まとめ...

# 日本のコメ輸出の現状

**輸出量は国内生産量800万トンの**

**僅か0.1%にも満たない！**

**国際競争力の強化のためには**

**国内保護策は再考を  
(飼料稲作等への補助金による足かせ)**

# 新しい市場の開拓を

- ・ **アメリカを狙え！**

**キャルローズより日本産米のほうが味が良い！**

**アメリカから日本は36万トンもの輸入**

## 新市場の開拓

- ・ **インド、中国、**
- ・ **南米、中東、EU諸国**

# 世界の日本食ブームで需要は高い

- **輸出後発組の日本農業**
- **現地の消費者に歓迎されている**
- **輸出に向けた国全体の取り組みが重要**
- **現地に日本大使館も巻き込む**
- **TPPによる輸入拡大は輸出でカバー**

**ご清聴  
ありがとうございます  
ございました**

